

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	白山公園駐車場
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社
指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成27年3月31日
新潟市主管課	中央区役所建設課
所在地	中央区一番堀通町1番地12
根拠法令	都市公園法
設置条例	新潟市都市公園条例
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ○白山公園駐車場施設 公園管理事務所，駐車場（A・B・C・D），C駐車場トイレ，駐車場管理施設 ○駐車場付帯施設 空中庭園（2，3，5，6），カスケードの庭及び浮き島周り通路，ブリッジ及び各階段エレベーター，風除室，階段室，

施設設置目的
<p>都市公園内の駐車場施設及び付帯施設（空中庭園など）として，公園・周辺の公共施設の利便性を増進するために設置する。</p>
管理・運営に関する基本理念，方針等
<ul style="list-style-type: none"> (1)新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき，都市公園の健全な発達を図り，公共の福祉の増進に資する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに，住民サービスの向上や平等利用が確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し，安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき，個人情報の保護を徹底するとともに，業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し，実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	提供サービスの情報発信	市報等を活用した情報発信	HPアクセス数268,503件	B	目標を達成した
	施設利用率	年間台数 300,000台以上	358,640台	B	目標を達成した
	自主事業の実施	設置目的に合致した自主事業を2回実施	緑化フェア開催・ウェルカムプリンター設置・自動販売機設置・レンタサイクル	B	目標を達成した
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望については7営業日以内に回答	苦情・要望なし	B	利用者の要望には十分応えられている
財 務	利用1台あたりのコスト削減	利用1台あたりコストを840円以下	377円	A	目標を大幅に達成した
	本市の収入	駐車場使用料 1億3000万円以上	115,865,200円	C	更なる周知により収入増を図る必要がある
業 務	事件・事故発生時の対応の適切さ	人身事故 補償を伴う事故発生件数0件	0件	B	目標を達成した
	指定管理者制度の理解	指定管理者に関する研修受講者数 年1人1回以上	職員1人1回受講	B	目標を達成した
	業務仕様書等に定める事項・指標の遵守	その他業務仕様書等に定める事項・指標の遵守	利用者の安全と利便性を考えながら業務を実施	B	目標を達成した
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	各種研修の実施件数 年1回以上 (駐車場及び庭園管理)	機器管理及び誘導・マナー研修を実施	B	目標を達成した

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

ほぼ目標を達成できたので、次年度も目標達成できるよう努めます。
 目標を達成できなかった市の収入について、当駐車場利用者は、周辺施設のイベント来場者が主なため、イベントが重なった場合、駐車できないなど、キャパシティの問題もあり目標数値まで収入をあげることは難しい面もありますが、市民の方に安心・安全に駐車場を利用していただける施設管理を行うとともに、少しでも収入増に繋がるよう利便性を高めながら目標達成に努めます。

所管課による総合評価(所見)

施設の管理運営は業務基準等に基づき適正に実施され、施設の維持と利用者へのサービスに努めており、良好と評価できる。施設の維持管理や職員の研修受講、自主事業の実施等についても、協定書や事業計画書に基づき、適正に実施されており、良好と評価できる。
 しかしながら、使用料収入については、評価指標を達成してないため、今後はホームページ等による積極的な情報発信や自主事業の開催等により、施設自体の更なる周知、知名度向上を図り、使用料収入の増加、評価指標達成に向けたより一層の取り組みを期待する。